



4/19 長与町高齢者見守りネットワーク事業協定締結式

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと本町は、長与町高齢者見守りネットワーク事業に関する協定を締結しました。この事業は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、町、地域住民および関係機関が協働して活動を行うことを目的としており、民間事業者の方が宅配などの日頃の業務の範囲内において気づいた異変を連絡していただき、必要な対応へ繋げようとするものです。



5/12 災害に備えて長与町消防団礼式訓練

ふれあい広場にて長与町消防団礼式訓練が行われました。浜田出張所の指導のもと、団体行動の基礎的な所作や消防ホース延長操作が行われ、今年新たに入団した19人の新入団員も先輩団員に交じり、熱心に訓練に取り組んでいました。



5/13 ソフトボールを通じて地域の融和を

第43回早朝
第39回一般男子ナイター
第40回壮年スローピッチ
第27回実年スローピッチ
第10回シニアスローピッチ
ソフトボール5大会(町体育協会・町ソフトボール協会主催)の合同開会式が、町民体育館で開かれました。
今年は42チームが参加し、本川内実年チームの田平忠弘さんが選手宣誓を、Daddies(ダディーズ)チームの井上学さんが交通安全宣言を行いました。今年も熱戦が繰り広げられます。



5/13 岡浮立の傘鉾新調お披露目



このたび、宝くじ助成金を活用し、岡浮立の傘鉾が新調されました。お披露目された傘鉾は、重さ約100kgで、銀箔を施した月、ヤクの毛を使った赤白の毛槍、大太鼓に締太鼓といった岡浮立の道具を飾物(だし)に配し、垂れは大村湾上に輝く朝日と波模様があしらわれ、瀟洒で、なおかつ迫力のある出来栄となっております。手がけた職人さんに話を聞くと、特に飾物の全体のバランスを取るのが難しかったそうで、こだわりにこだわり抜いた傑作となりました。

岡浮立は、約200年の歴史をもつ行列浮立で、昔は、五穀豊穡祈願や雨乞祈願など祈りのために催されてきたようです。鉦や太鼓で天の神の眠りを覚まそうとするもので、村中がこぞって参加し、岡郷では、俗に「岡の千人浮立」といわれてきました。シンボリックな存在ともいべき傘鉾は、この大行列の先頭に登場します。

傘鉾は、文字通り「傘型の鉾」ということであり、鉾というのは「武器」のことで、傘は、雨がつかからないように、お殿様などに差しかけるものです。すなわち傘鉾とは、先頭に立ち、なおかつ武器として後に続く行列を守っている、まさに岡浮立の魂そのものなのです。

この新しい岡浮立の魂のもと、今後ともますます発展されることを祈念します。